

# 地域を支える活動に積極的な参画

## 関市東部地区 民生委員児童委員協議会

東部地区民生委員児童委員協議会は、富岡地区、富野地区の二つの地域で東部地区として活動を行っています。富岡地区は、関市の東部に位置し、人口7,500人、津保川と山々に囲まれ田園とともに住宅地、商業地が混在した地域で、民生委員・児童委員11名、主任児童委員2名の合計13名で活動しています。富野地区は、津保川の中流域に位置し、人口1,620人、市街地からは少し離れた自然豊かな地域で、民生委員・児童委員4名、主任児童委員1名の計5名で活動しています。両地区とも主な活動は見守り対象者への訪問や配食サービス、ふれあいサロンの開催などですが、今回はその他に民生委員・児童委員が関わっている活動を紹介します。

### 富岡地区

#### ひらが・お日さまカフェ

認知症カフェとして、令和6年9月から毎月1回、参加制限は設けず開催しています。計画段階でスタッフは認知症に関して全くの素人でしたので、まずは認知症サポーター養成講座を受けました。そして開催の目的を、認知症への不安を減らすために認知症についての知識を得て相談できる場を作ることに、また、孤立を防ぐために近所で顔見知りを増やすこととしました。スタート時はカフェのみでしたが、回を重ねるうちに折り紙や手遊びなどのお楽しみや講話も加えていきました。参加者は30名程と小規模ながら、熱中症や認知症の話に熱心に耳を傾け、楽しそうにおしゃべりに花を咲かせる様子には手ごたえを感じています。

#### とみおかニコニコ食堂

とみおかニコニコ食堂は富岡小学校の児童対象の子ども食堂です。毎月第3土曜日に小学校の隣の富岡ふれあいセンターで開催しています。まだコロナ禍だった令和4年の春から始動して、徐々に定期的に開催できるようになり、今年度は4年目になりました。

参加希望者はほとんどがリピーターの子ども達で毎回50〜60人あり、前半・後半に分けて入れ替え制で食事をしてもらっています。

毎回の調理スタッフは富岡地区のボランティアの方々と、野菜を提供してくださる地域の方にもお世話になっていきます。旭ヶ丘中学校の生徒もボランティアで遊びの見守りに来てくれることになりました。

子ども達の「おかわりしたい」「おいしかったよ」の言葉や楽しそうな笑顔がスタッフの原動力です。これからも地域の子ども達の居場所の一つとして、多くの人達のつながりの中で見守っていきけるよう活動していきたいと思えます。



笑顔でにぎわう「とみおかニコニコ食堂」  
(撮影時期：令和5年夏、場所：富岡ふれあいセンター)

### 富野地区

#### 外出移動支援事業

富野地区の困りごとの一つに自動車に乗れない人の移動手段に乏しいことがありますが、65歳以上の600人を対象としたアンケート調査から移動支援サービスへのニーズが明確になり、支部社協と地域委員会（富野ふれあいのまちづくり委員会）が協働でドア・ツー・ドア、利用無料の買物支援バス事業を平成29年から試験的に開始しました。10人乗りワンボックスカーを社会福祉協議会から借用し、地元有志がボランティアで運転手を務め、市街地の食料品、日用品、医薬品などが揃う総合スーパーへ出かけます。ご近所同士が車内でワイワイやりながら自宅から行ける便利さで大変好評でした。コロナ禍での中断もありましたが、8年が経過した現在も買物に困る方のセーフティネットとして事業を継続しています。10年先に車に乗れなくなってもここで暮らしていける、そんな仕組みを定着させるとの思いでスタートさせたことが今に生きています。



買物支援バス出発の様子  
(撮影時期：令和2年春、場所：富野ふれあいセンター)

これからも困りごとを地域で解決していく活動に注力していきます。